

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第34回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成29年5月9日（火）AM10時30分～11時30分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

【構成メンバー】

入居者 2名（特養・グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名
入居者家族 2名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（常務理事兼施設長・太寿副施設長・グループホーム管理者）
構成メンバー総数 13名

【当日参加者】

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）1名
入居者家族 1名（特養） 柏原市包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 4名（常務理事兼施設長・柏原寿光園副施設長・太寿副施設長
GH計画作成担当者）

出席者総数 9名

【議題・式次第等】

1. 開会挨拶（施設長）
2. 前回の懸案事項の回答・報告
3. 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
4. グループホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
（現時点の入居者数・待機者数・介護度別年齢別入居者等の状況説明等）
5. その他

① 開会挨拶（森田常務理事兼施設長）

3月の運営推進会議はこちらの都合で開催できず、申し訳ございませんでした。年度が変わって今回が初めての会議となります。地区福祉委員さんをはじめとしまして、新たな顔ぶれも増えました。簡単に自己紹介をした後、議案審議の程よろしく願います。

② 前回の懸案事項の回答・報告

特にご覧いません。

③ 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告（別紙により報告）

特養担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

◇5月8日の時点で、入居申し込み受付数は「37件」です。

↓

- ・4月に実施した「入居申込状況調査」の結果、24件の辞退者がありました（前回の会議時よりも大幅な減少）。他施設にすでに入居されていたり、お亡くなりになったりされていることが辞退の

理由の大半です。

- ・先日の新聞報道でもありましたが、全国的に空き居室（ベッド）のある特養が増えていきます。入居要件の厳格化や高齢者施設の増加が要因と言われておりますが、太寿も例外ではなく、申込者数が年々減少しております。“特養は申し込みがかなり多くて入るのは難しい”と思われがちですが、実際にはそうではなく、特に介護度の高い方が複数特養に申し込めば、どこかの施設からすぐに声がかかってくるような状況です。そのような状況ですので、以前と比べると特養入居に対する需要は減っているなど、相談窓口の立場として肌で感じます。
- ◇「地域包括ランチ窓口」としての相談についてはこれまでと大きく変わらず、数は多くは無いですが、電話や窓口で対応しております。

【入居者様の状況】

- ◇前年度末の冬～春にかけては入院・退居共になく安定して経過していましたが、年度が変わった4月に入ってから特養入居者の体調不良が急激に増加しました。日々気候変動が激しく、抵抗力の弱い方には厳しい季節であること、さらには太寿もこの4月で丸6年が経過し、初年度に入居された方も加齢に伴って低下してこられたことが背景にあると思われまます。
- ◇【退居】4月に3名の方が退居されました（ご逝去）。3名共に開設初年度にご入居された方々で、これまで一緒に太寿に歴史を刻んでくださいました。
 - ・2階西・90歳・女性 4/13 看取り介護の末、当施設にて永眠。
 - ・2階西・89歳・男性 4/26 入院先にて急性呼吸不全のため永眠。
 - ・2階東・94歳・女性 4/28 看取り介護の末、当施設にて永眠。
- ◇【入居】選考会の結果、下記の方を選考し、ご入居いただきました。
 - ・2階西・女性・86歳・要介護4 → 4/30 入居
独居で生活されていましたが、加齢に伴う身体機能の低下から転倒・骨折→入院を繰り返した後、在宅復帰は困難となり、太寿のショートステイを長期にご利用いただいていた。「施設に入るなら太寿さんに入りたい」とご本人・家族様共に希望されていたこともあり、入居の流れはスムーズに運びました。
- ◇【入居】下記2名の方も選考し、近日中にご入居の予定です。
 - ・2階東・女性・95歳・要介護5
 - ・2階西・女性・84歳・要介護3両名のご家族様も入居決定の知らせに喜んでいただいております。
- ◇4月に3名の方が入院し、その3名共に軽快して4月内に退院されました。ところが、5月に入って再度体調を崩され、3名共に入院されている現状です。

【最近の取り組み】

※別紙「ここのところの様子」をご参照ください。

[この間に開催したボランティア様によるイベント]

ライブバンド演奏・二胡演奏会・いきいき歌体操・コーラスの会・ニュースポーツけん玉・ギター演奏・紙芝居&手遊び・手品・コーラスと日本舞踊・オカリナ演奏
ちぎり絵製作会・音楽あそび 等々

- ◇冬季の感染症流行期間中は一堂に会してのイベントを注視していましたが、4月からは再開しています。再開を待ち焦がれていたこともあり、4月だけで13組のボランティア様をお招きしてイベントを開催しました。ご入居の皆様にもたいへん喜んでいただいております！
- ◇2名の“傾聴ボランティア”様が今月より太寿で活動していただけることになりました。入居者様のお話し相手として、喜びと安らぎを感じていただけることを期待しています。
- ◇4月の花見の季節、ユニット単位で柏原市内各地に花見に出かけました❀今年は例年よりも開花が遅めでしたが、比較的長い期間桜が咲き続けてくれました。中にはドライブに同行を希望される家族様もおられ、皆様楽しみました！
- ◇こども食堂及び学習支援、当法人では昨夏から太寿スペースを活用して取り組んでいますが、徐々に定着してきております。参加される子供さんの数も3月あたりから増加しています。地域貢献の一環として、これからも継続して取り組んでいきたいと考えています。

※こども食堂&学習支援（毎月第2・4木曜日、17時半～20時）

※学習支援（毎月第1・3木曜日、17時半～20時）

4 グループホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告（別紙により報告）

※グループホーム担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

5月7日の段階で、待機者は「1」です。

【入居者様の状況】

季節の変わり目で小さな体調の変化はあるものの、入院されることなく安定して過ごされています。

【最近の取り組み】

気候の良い4月になってから、以下の取り組みを行いました。

- ◇ご入居者2～3名ずつ車に乗り、近所に桜の花見に出かけました。天候にも恵まれ、皆さんとても喜ばれていました。
- ◇時間を見つけて施設屋上に行き、気分転換を行っています。太寿の屋上は周辺の見通しも良く、山も近くに見えてとても気持ちの良い場所なんです！
- ◇ボランティア様による太寿全体のイベントも再開され、ほぼ全員の方が喜んで参加されています。
- ◇毎日の食事可能な範囲でスタッフと一緒に作っていただき、メニューも相談して決めています。

【今後の取り組み】

- ◇太寿全体で開催されるイベントは今後もたくさん企画されており、今後ご希望される方に積極的に参加していただきます。
- ◇皆さんに人気のある“お寿司”の出前をとり、好きなものを食べていただく企画を考えています。

5 その他

要望・助言内容（主な事柄のみ掲載）

◇特養・家族代表・・・

特養の入居要件が2年前から要介護3～5に狭まったと説明があったが、グループホームの入居要件も変わったのでしょうか？

→（特養担当者）

現在のグループホームの入居対象となる介護度は、「要支援2、又は要介護1～5」となっております。この要件につきましては、ここ数年来変更はございません。要介護度以外に、柏原市に住所地があること・認知症を有するというのも必須要件をなります。

◇地域住民代表（地区福祉委員）

太寿がオープンした頃に見学に来たことがあるが、その際に市立柏原病院と関係があると説明を受けた記憶があるが、柏原病院の医師がここに診察に来てくれることもあるのか？

→（特養担当者）

開設当初より市立柏原病院様とは協力医療機関として契約を交わしております。太寿は地域密着型の施設ということで柏原にお住いの家族様も多く、受診・入院を要する場合は柏原病院を希望される方が多いです。柏原病院の医師が太寿にお越しになって診察をされるということは無く、全て通院での診察となります。

太寿に入居されている方の大半の方は、本体施設にある柏原寿光園診療所 Dr.（内科）を主治医としております。柏原寿光園診療所 Dr.により、週3回太寿にて診察を行っています。また、入居者の中には在宅時代からの継続ということで、施設外の病院・医療機関を主治医とされている方もおられます。

◇柏原市職員・・・

特養の報告の中で、入居申込者数が数年前と比べると激減しているとありましたが、私としては特養の待機者数は現在でもかなり多い状況だと認識していました。窓口で施設入居の相談に来られた方への返答も現状に合わせて変えていく必要があるなと感じました。

→（特養担当者）

現状としては報告した通りです。以前と比べると入居できる可能性は高くなっていますので、是非窓口で太寿に相談に行くようにお伝えいただけると幸いです。

◇地域包括支援センター職員・・・

看取り介護の末にご逝去された方の報告がありましたが、ターミナルの状況になった時は、通常より人員を増やすといった特別な対応をされているのでしょうか？

→（特養担当者）

ターミナルの状況になった時に人員配置を増やすということは特に行っておらず、通常配置人員の中で対応を行っております。ただし、医師・看護師・ユニットリーダー・相談員など、すぐに連絡をとれるオンコール体制を平常時以上に万全に敷いております。これらのことを含めた太寿における看取り介護方法については、ご家族様にももちろん事前に説明し、了解を得てから実施しております。

※次回の運営推進会議は、「7月11日（火）午前10時30分～」の予定です。